|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **会場名** | | **サブリーダー**  **役職　　　　　　　　　氏名** | |
| 大阪国際会議場 | 特別会議場 | 次年度代表幹事 | 森本　尚孝 |
|  |  | 次年度地区財務委員会委員長 | 長濱　晋 |
| **リーダー　役職・氏名** | | 次年度公共ｲﾒｰｼﾞ向上委員会委員長 | 利倉　一彰 |
| ガバナーエレクト | 吉川　健之 |  |  |
| パストガバナー | 簡　　仁一 |  |  |
| **議事録作成者** | 2025-26年度　次年度地区幹事　奥小路裕眞 | | |

|  |
| --- |
| 開会：（　１５　時　４０　分） |
| 発表者：　司会　次年度代表幹事　森本　尚孝 |
| 【記録内容】  出席者紹介・配布資料確認が行われ、大橋ガバナーの開催挨拶より本会議が開始された。 |
| 発表者：ガバナーエレクト　吉川　健之　　　（　１５　時　４３　分） |
| 【記録内容】  「私が会長や幹事を務めた時に心がけた事」を紹介。  大阪北RC会長就任以来「温故創新」をテーマ。48年前某銀行入行時代、頭取による言葉。  会長就任時はコロナ禍。従来・前年通りの取り組みも良いが、少しでも新しい事(創造)を取り入れた(感染対策含め)。  六甲サイレンスリゾートによる家族懇親会(屋外＋マスク着用、  クラブ間交流の紹介(南北交流会)、新しい奉仕のあり方(タンザニア甲子園立ち上げ)を紹介。  持続サステナブルを重視し、動画(記録)をタンザニアに残してきた。  ジャッキジャクソンの曾孫がタンザニアにいる事もあり、MLB/ﾄﾞｼﾞｬｰｽｽｶｳﾄ陣も同行。  少しのきっかけから、様々新しい事が生まれた実体験を紹介。  例会について、大阪のみならず東京でも参加できる様(東京側卓話者の参加も含め)、  サテライト例会を立ち上げる。また、有志のキャッシュレス決済化や「会員増強」を目指し勧誘パンフレットを作成なども紹介。  とにかく、次年度も会員減少の歯止めが必要。  合同例会によるガバナー公式訪問交流、SFT、子ども食堂支援を通じ、懇親。  今年は、RI本部より会員数の現状報告を必要とする事を改めて依頼。  吉川DG年度の方針（温故創新、交流）は、自身のクラブ会長時代の体験がルーツとなっていることを伝え、改めて次年度方針への協力をお願いして終了。 |
| 発表者：　2025-26年度　地区財務委員長 長濱　晋　　　（　１６　時　０６　分） |
| 【記録内容】  次年度の地区予算案の概略（地区運営資金、地区活動資金、特別会計）について、あらためて特徴と留意点について説明した。事前に戴いた質問に対し説明。デジタル化を必要とするものの、様々費用も掛かる為、クラブとしても多額費用を心配との質問。回答としては現在メリット・デメリットを検証し、今後具体的な経費算出により予算に組み入れていく予定とした。 |
| 発表者：　　ガバナーエレクト　吉川　健之　　　　　　　（　１６　時　０７分） |
| 【記録内容】  次年度の地区予算について、出席の会長エレクトに対し拍手にて承認を求めたところ、賛成多数にて承認された。 |
| 発表者：パストガバナー　簡　仁一　　（　１６　時　１０　分） |
| 【内容】  ロータリーの認識向上の為には、何が必要かを説明。  様々な世界や環境に長く接する事により、初めてブランドを構築する事が可能。  また、新たに認識してもらえるためには、非常に時間が掛かる物であると説明。  My Rotaryを登録する事により、Rotaryの情報を確認する事が出来るが、ログイン等煩雑、またサイト内の複雑さを改善する為、「Japan Portal Site」を立ち上げた(会場全員でQRコード取得)。  「Japan Portal Site」の中身を細かく説明(3 years rolling、世界ポリオデー詳細等)  また、サイト内には次年度目標数字等を入力し、目標を目指す事が出来る事等も説明。  「おぼれた母親or配偶者の救済選択」を例にし、世界各国の考えの違いを紹介(東南アジア系は母親、西洋は配偶者)。どの答えも合理的である事、全者とも自分の答えが当然正しいと思っている事、各クラブの方々も同象の可能性がある事を次期会長＆幹事の皆様には覚えておいてもらいたい事を説明。  善意のぶつかり、お互いを認め合う事が必要であると改めて説明。  コロナ禍を経験し「何かをするリスク」もあり「何もしないリスク」もある。  ロータリーの価値観を大切にし、しかし前例にとらわれる事もなく、前向きに進めてほしい。 |
| 発表者：2025-26年度　公共イメージ向上委員会　委員長　利倉一彰　（　１６　時　３３分） |
| 【内容】  パワーポイント資料を使い説明。  公共イメージ向上とは、奉仕活動→会員増強→公共イメージ向上。  認知度浸透度調査(2020～2021年情報を抜粋)を説明。  公共イメージには、ロータリアン1人1人が広告マンである。  更にメディア戦略が必要な為、実例を説明(年一度の報道関係者/電通社及び博報堂社との意見交換会を実施)  また、ローターアクト(RAC)の参加による世界ポリオデー。  日経新聞にロータリーの活動としてポリオ根絶活動を紹介。  ウクライナ難民を支援するポーランド単身活動者へ大阪北RCも支援。  災害時における役に立つトイレトレーラーを企画＆製作(大阪市と優先通行できる協定書を締結)  タンザニア甲子園プロジェクトの紹介。  メディアからの取材を行われる可能性を想定し、記録・録画等のデータ化を行ってほしいと依頼。  若年層へのアピールとしてSNSを有効活用していく事を推奨。 |
| 発表者：　質疑応答　　（　１６　時　４８　分） |
| 【内容】：特段なし  【質問】： |
| 発表者：　補足説明　　次期代表幹事　森本尚孝　　　　　　（　１６　時　５０　分） |
| 【内容】  合同例会の件。  パンレット19～20ページの内容をもとに説明。  吉川ガバナーへの個別訪問は、遠慮なく是非申し出て戴きたいこと、ただしその場合でも合同例会には参加いただきたいことを伝える。  この取り組みには賛否両論あるが、ガバナーの想いをご理解いただき、次年度会長および幹事のるーだーシップのもと成功へのご協力をお願いして終了。 |
| 閉会（　１７　時　００　分） |

|  |
| --- |
| **備考・メモ** |